

白須賀宿

散策マップ



遠州灘

至新居

国道12号

白須賀
インターチェンジ

潮見バイパス

神明神社

元屋敷跡

猫塚

緑と
ふれあいの里

15 潮見峠

八幡神社

慶雲寺 西光寺

稲荷神社

笠子神社

成林寺

京福寺

東長谷

潮見坂

袈裟切り地藏

11 十王堂

禮雲寺

妙泰寺

東町

白須賀小

白須賀中

南部地区構造改善センター

10 石碑群

8 白須賀

旧東海道

潮見坂

7 烏塗山

6 烏塗山

おらんの橋

4 成法寺

3 潮見観音

5 清公の松

9 潮見坂公園跡

2 埋塚

清公の墓

1 お稲荷様

1 お稲荷様

大鎮神社

神明神社

1 大鎮神社

2 埋塚

3 潮見観音

4 成法寺

5 清公の松

6 烏塗山

7 烏塗山

8 白須賀

9 潮見坂公園跡

10 石碑群

11 十王堂

12 本陣・脇本陣跡

13 大防樹

14 廣雲寺

15 潮見峠

伝馬町

西町

境宿

境川

古い民家群

① お稲荷様

火鎮神社の拝殿から、参道を東へ40mほど行くと小さな境内があります。朱色の鳥居をくぐり、石段を登るとお社があり、お稲荷様が祭られています。大漁祈願のために三浦半島の葉山のお社まで御神体を受けに行き、お祭りするようになったと言い伝えられています。

④ 坂下のおらんとく様

墓地のことを卵塔場というところから「おらんとく様」という名がつけられています。墓碑は15基あり、最も古い墓碑には万治3年(1660)、ほかに寛文や元禄の年代が見えます。

⑦ 潮見坂

潮見坂は、街道一の景勝地として数々の紀行文などにその風景が記されています。西国から江戸への道程では、初めて太平洋や富士山の見える場所として、旅人の詩情をくすぐった地です。広重も、この絶景には関心を抱いたようで、遠州灘を背景に、その一帯の風景を忠実に描いています。

⑩ 潮見坂上の石碑群

明治天皇御聖跡碑をはじめ、夏目覺麿、加納諸平、藤屋五平、義僕平八郎の顕彰碑や元白須賀町長の山本庄次郎、医師で地域の文化振興に尽くした石川榮五郎の碑、そして忠魂碑があります。

⑬ 火防樹

旧道の両側に生い茂る大きな榎の木が目に入ります。これは、火防樹と呼ばれ、火事の延焼を食い止めるために植えられたものです。白須賀宿の民家は軒が連なり、延焼しやすい町並みでした。静岡県内で残っているのはここだけです。

② 一里塚跡

一里塚は、徳川家康が最初に手掛けた東海道の整備事業の一つ。江戸日本橋から一里(約4km)ごとに京都の三条大橋までつくられた。この辺りでは、一里塚のことを一里山と呼んでおり、石碑にも「一里山旧址」と彫られています。

⑤ うないの松

潮見坂の中ほどに蔵法寺へつながる小道を50mほど行った所に「うないの松」といわれた大松の切り株と、この松を詠んだ久内和光の歌碑があります。「うない」とはうなじのことで、松があった位置が潮見坂の首のあたるところから付けられました。

⑧ おんやど白須賀

白須賀宿の歴史文化に関する知識を広めるとともに、散策する人々の交流休憩地として、新たな文化、交流の発信拠点として活用されています。展示には、宝永4年の津波の記録、白須賀宿の文化人、和紙人形の潮見坂風景、白須賀宿の昔語り等があります。

⑪ 十王堂

宿場所替えの宝永5年(1708)に他の諸寺とともに元宿から移転したと伝えられています。お堂には、この地方に珍しく鐘楼・梵鐘もあって、旧盆の期間を通じて、鐘の音が白須賀の街に響きわたります。無住となって数十年がたちます。

⑭ 庚甲堂

天和元年(1681)に立山長老に建てられましたが、現在の建物は、天保12年(1841)に再築されたものです。この地方にある庚甲堂の中では最も大きく、堂々たる鬼瓦が目を引きまします。境内には、見ざる、聞かざる、言わざるの三匹の猿の陶像があります。

③ 潮見観音像

山上から遠州灘の大海の潮を見るということからこの名で呼ばれています。また、海上安全を願う漁民の習わしとして、遠州灘を行き交う船は、必ず帆を下げ観音様の名前を念じて通り過ぎることとされていたので、またの名を「帆下げ観音」とも呼ばれていました。

⑥ 点燈山

昔、廻船のための灯台があったことから、この名で呼ばれています。昔は、頂上から遠州灘が一望できる眺望絶景の地であったようです。また、曳馬城の外城である白須賀城がここにあったと言われています。

⑨ 潮見坂公園跡

明治天皇が江戸へ行幸する途中に休まれた潮見坂上は、かつて織田信長が武田勝頼を滅ぼして尾張に帰る時、徳川家康が茶亭を新築して、信長をもてなした所でもあります。大正13年4月、町民の勤労奉仕により公園がつけられました。現在は、公園敷地跡に中学校が建てられています。

⑫ 本陣・脇本陣跡

白須賀宿には、本陣が1軒、脇本陣が1軒ありました。本陣は、大名や身分の高い人が、脇本陣は、大名の家来などが宿泊した施設です。白須賀宿の本陣職は大村庄左衛門で、本陣の規模も建坪183坪、畳敷231畳、板敷51畳と大きいものでした。

⑮ 潮見峠

海が見える農業公園「緑とふれあいの里」のシンボリックな拠点としてつくられた「潮見峠」は、湖西市の特産品の販売はもちろんのこと、自然のままのおいしさを大切にした味づくり、地域農産品や地元観光情報発信基地としての機能も持っています。